

しきしまの家 通信

Vol.8



\\ 全国へ発信! //

「地域共生社会推進全国サミットinとよた」



10月13日、地域共生社会推進全国サミットで、しきしまの家の今までの取り組みを発表しました。その内容は、「しきしまの家」活動報告・意見交換会2023(12月2日開催)で報告しますが、一部ご紹介します。

しきしまの家の相談第1号が杉本神明神社からで、樹木医の診断により伐採された貞観杉の枝の活用方法だったこと。第2号が中学校の「木の活用形」の総合学習の内容の相談だったこと。**この二つをしきしまの家がマッチングし、多くの団体とつなげ、中学生考案による貞観杉グッズを誕生させたことを発表しました。**



中学生が「貞観千年箸・箸置きセット」と「貞観千年ペア守り」を会場で販売したところ、準備した商品は瞬く間に完売! 自治区の皆さまには、町内会を通じて「貞観杉グッズ予約注文票」を配布しました。この機会にぜひお申し込みください。

しきしまの家活動報告・意見交換会2023

🕒 **とき** 令和5年12月2日(土) 13:30~15:50

📍 **ところ** 敷島会館ホール

どなたでも参加できます。

11月26日(日)までに、町内会長に申し出てください。

この日はしきしまの家は臨時休業です。



詳しくは
こちらのチラシで!

QRコードからも
ご覧いただけます



みんなが幸せに暮らす未来のしきしまのために

～未来に向けた構造改革のための提言～

ピックアップ

9月16日(土)、「ときめきプラン2020」未来への構造改革プロジェクトチーム(三浦計洋リーダー)から、3年間の調査・研究結果が、自治区に「提言」として報告されました。提言は、「プラン2025」の検討にも生かされます。

「提言」の全文は
しきしまの家やHPから
閲覧できます

● 予測できない未来を創造する

拡大成長の時代は、正しく未来を予測することが求められました。今後の縮小する時代は、めざす社会を創造し、それに向かって努めることが大切と提起されました。未来のしきしまは、「多様な価値観を認め合い、住民同士、関係人口が支え合い、お年寄りから子どもまでが、それぞれの能力に応じた役割を果たしつつ、豊かな自然を享受し、幸せな日常を送る社会」としています。



● 「高齢社会」は課題ではなく、私たちが目指した社会

提言は、高齢者の多い社会を、次世代が今よりも幸せに暮らせる地域を残すために、蓄積された知恵を持ち、時間にもゆとりのある人材豊富な社会と、ポジティブに捉えています。100歳までに残された豊富な時間を、楽しく、次世代のために尽くす、しきしまの「生涯現役・幸福持続化モデル」です。

しきしまのこれからの人生モデル

これまでの人生

3ステージモデル 同世代で一斉行進。引退期は「老後」を送る人生。



これからの人生

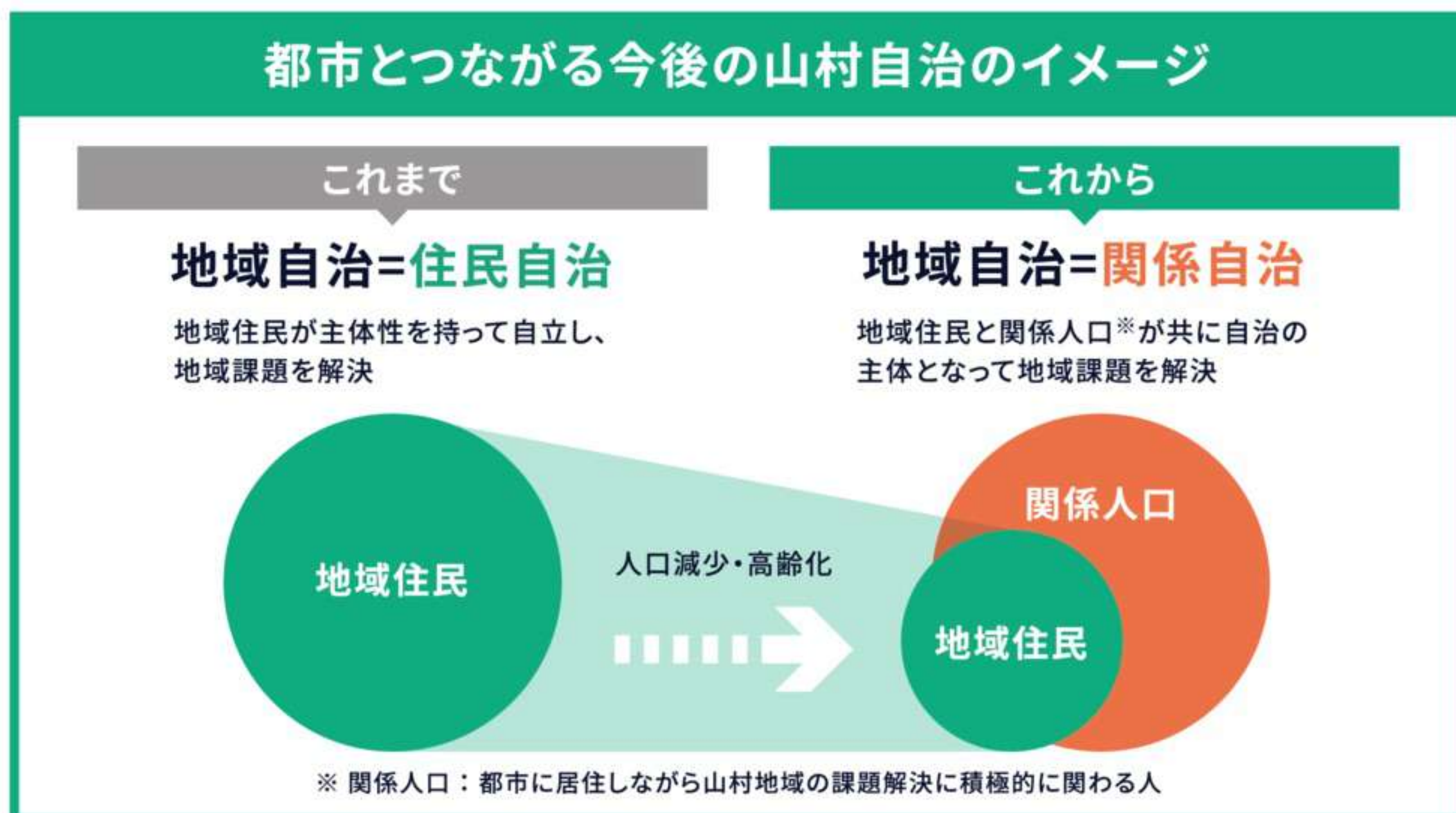
生涯現役・幸福持続化モデル 生涯学び、多様な仕事に就き、次世代のために生きる人生。



● 都市とつながる、これからの地域づくり

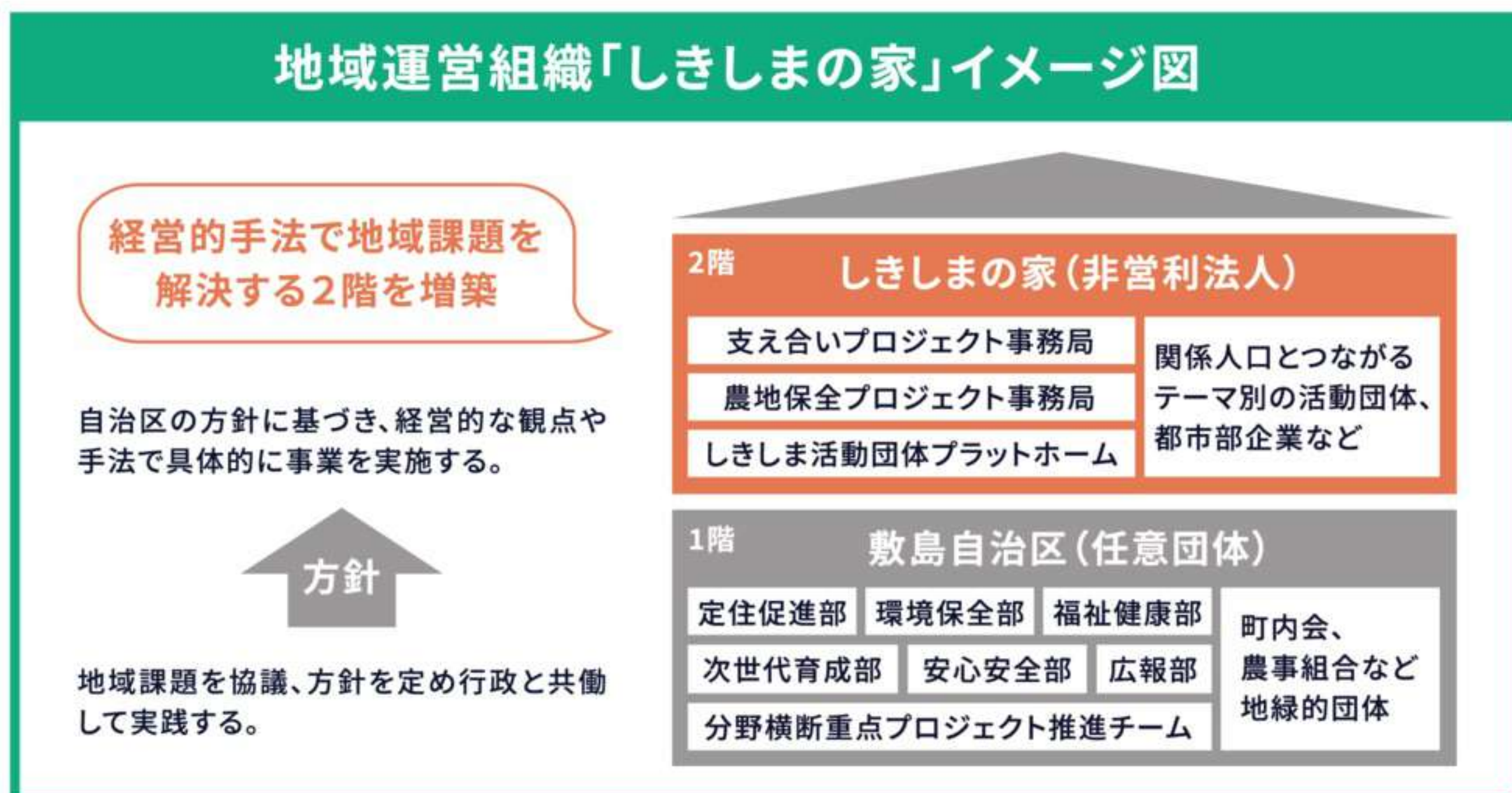
これからのしきしまの「地域自治」は、山村の課題解決に喜びや意義を見出す「関係人口」と共に行う「関係自治」を、方針の一つに据えて取り組みます。

関係人口は、お役や村まつりを支えてくれる親族から、お米の購入を通じて農地を荒廃から守ってくれる消費者まで幅広く、これらの人々とWin-Winの関係を築くことが重要です。



● 農村型地域運営組織（農村RMO）しきしまの家を牽引車として

行政との共働により課題解決を行う自治区は、これまで以上に重要性を増します。一方、ノウハウを蓄積しながら経営的観点や手法により課題を解決に導く地域運営組織（RMO）の必要性が提起されました。今年4月にオープンした「しきしまの家」は、「みんなのたまり場」とあると同時に、地域運営組織としての役割が求められています。



ずっと元気プロジェクト キャンペーン実施中!

コーヒーチケット
進呈!

65歳以上の方が、月に1回程度、ふらっと祭で飲食したり、お茶を飲んだり、
支え合いシステムを利用したりすると、豊田市の「ずっと元気プロジェクト」
の支援を受けることができます。現在、約140名の方が参加しています。

- 1 「しきしまの家」で
飲食したり
支え合いシステムを
利用したりすると
- 2 ポイントが貯まり
「しきしまの家」の
運営資金になります
- 3 「しきしまの家」に
あなたが元気に通うことが
地域の元気につながります



現在、しきしまの家に来てアンケートに答えるとコーヒーチケットを進呈する
キャンペーンを実施中です。まだの方は、是非しきしまの家にお越しください!

cafe time



各集落の連絡員の方々

各集落には右記の連絡員の方が
います。直接の電話(77-5733)
も大歓迎ですが、声のかけやすい
ほうに連絡して、支え合いシステ
ムの円滑な運営を目指したいと
考えます。

- 東萩平町 後藤善弘 安藤征夫
- 押井町 松井文信 後藤哲義
- 大坪町 藤野さよこ 藤谷招宏
- 加塩町 松井美佐枝 林順護
- 杉本町 安藤弘志 鈴木康徳 板倉小夜子
- 榊野町 三浦和洋 林如実 清水幸子 成本由紀子
- 太田町 鈴木茂 高山治朗
- 小田町 鈴木孝子
- 明賀町 松井幸子

